

輸入食糧價格等に関する質問主意書

右の質問主意書を国会法第七十四條によつて提出する。

昭和二十四年四月八日

参議院議長 松平恒雄 殿

三
好
始

輸入食糧價格等に関する質問主意書

敗戦に伴い、食糧の自給力を著しく弱化した我が國にとつて、食糧輸入をめぐる經濟關係は、國民經濟上の大問題として、今後長く國民經濟を規制する一大要素となつた。豊富なる食糧を安價に輸入し得ることとは、一面望ましいことでもあり、他面農業恐慌を招來するものとして農村の脅威でもある。殊に輸入食糧の價格がもつ經濟的影響力は重大である。

右に關し、最近の實情について左の諸点を質問し、詳細なる数字的答弁を希望する。

一、輸入食糧の各生産地(國別)における價格、並に輸送費その他を含めての輸入價格は、三百三十円の輸入爲替レイトで單價何円となるか。

二、右について、單一輸入爲替レイト決定以前の夫々の爲替レイト並びに單價

三、本年度二年間に予想される輸入食糧の品目別合計金額

四、從來の食糧輸入費負担の情況並に將來の方針